

# 買場通り

## 買場通り(かいばどおり)

無鄰館の隣のガソリンスタンドを西に曲がった通りを「買場通り」と呼んでいます。ここは、明治15年(1882)に「七県連合繭生糸織物共進会」が開かれた場所で、その後、桐生物産売買所が設立されて織物製品の取引が行われていました。

買場通りを西に進むと、平成28年(2016)の火災から修復された木造平屋建て二軒長屋(かつての「買場ふれあい館」)が見えてきます。道路を挟んだ合い向かいには、「桐生市商工業発祥の地」の碑があります。この碑には、「明治16年ここに上市場(買場)が開設された」ということが書かれています。

さらに進むと、左手に旧北川織物のレンガ壁が見えてきます。このレンガ壁は保存のため、鉄骨による補強がなされています。



旧北川織物のレンガ壁

空から見ると、こんななんだって！  
ノコギリ屋根がよく見えるね。

